

# 令和3年度 財政状況資料集

## 総括表 (市町村)

都道府県名	東京都		市町村類型	特別区	指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	区分		令和3年度(千円・%)	令和2年度(千円・%)	
					財政健全化等	×	歳入総額	249,336,644	270,587,110	実質収支比率	10.3	9.3			
市町村名	杉並区		地方交付税種地	0-	財源超過	○	歳入歳出差引	13,542,642	11,862,706	経常収支比率 (※1) ( 82.8 ) ( 86.4 )	標準財政規模 127,632,072	財政力指数 0.62	公債費負担比率 1.9	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	
					首都	○	翌年度に繰越すべき財源	346,219	217,218						
					近畿	×	実質収支	13,196,423	11,645,488						
					中部	×	単年度収支	1,550,935	4,886,856						
人口	令和2年国調(人)	591,108	産業構造(※5)		過疎	×	積立金	21,072,622	1,413,580	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率		
	平成27年国調(人)	563,997			山振	×	繰上償還金	0	0						
	増減率(%)	4.8			低開発	×	積立金取崩し額	13,355,444	6,378,318						
住民基本台帳人口(※7)	令和04.01.01(人)	569,703	第1次	令和2年国調	463	平成27年国調	469	指数表選定	○	実質単年度収支	9,268,113	-77,882	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(人)	554,500		0.2	0.2	基準財政収入額 基準財政需要額 標準税収入額等 経常経費充当一般財源等 歳入一般財源等	70,604,104 116,393,157 127,632,072 110,539,378 166,344,017	72,196,314 113,362,768 125,014,524 108,725,188 150,739,901							
	令和03.01.01(人)	573,504	第2次	26,961	27,407				地方債現在高 うち公的資金 地方債現在高(臨時財政対策債除き) 債務負担行為額(支出予定額)	33,020,187 23,527,390 33,020,187 42,191,096					
	うち日本人(人)	556,769		11.1	12.6						収益事業収入 土地開発基金現在高	300,000 -			
	増減率(%)	-0.7	第3次	216,291	189,732	積立金 現在高	48,558,825 21,202								
	うち日本人(%)	-0.4		88.7	87.2			その他特定目的基金	18,025,244						
	面積(km <sup>2</sup> )	34.06				ラスパイレレス指数				98.9					
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	17,355														
世帯数(世帯)	336,339														
職員の状況															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	33,020,187	32,090,647				
	市区町村長	1	11,130		一般職員	3,286	9,782,422	2,977	うち公的資金	23,527,390	23,004,406				
	副市区町村長	2	8,919		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	33,020,187	32,090,647				
	教育長	1	7,644		うち技能労務職員	310	945,810	3,051	債務負担行為額(支出予定額)	42,191,096	31,484,277				
	議会議長	1	8,560		教育公務員	106	354,958	3,349	収益事業収入	300,000	200,000				
	議会副議長	1	7,746		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-				
	議会議員	46	5,957		合計	3,392	10,137,380	2,989	財政調整基金	48,558,825	40,841,647				
										減債基金	21,202	18,655			
										その他特定目的基金	18,025,244	14,216,115			
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧					
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)			
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業会計					(5)	特別区人事・厚生事務組合	(10)	杉並区スポーツ振興財団				
		(3)	介護保険事業会計					(6)	特別区競馬組合	(11)	杉並区障害者雇用支援事業団				
		(4)	後期高齢者医療事業会計					(7)	東京二十三区清掃一部事務組合	(12)	杉並区土地開発公社	○			
								(8)	東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(13)	下井草駅整備				
								(9)	東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(14)	杉並区成年後見センター				

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	67,412,097	27.0	67,412,097	50.5	普通税	67,394,426	100.0	-	
地方譲与税	783,733	0.3	783,733	0.6	法定普通税	67,394,426	100.0	-	
利子割交付金	182,371	0.1	182,371	0.1	市町村民税	64,216,302	95.3	-	
配当割交付金	1,308,836	0.5	1,308,836	1.0	個人均等割	1,197,702	1.8	-	
株式等譲渡所得割交付金	1,598,812	0.6	1,598,812	1.2	所得割	63,018,600	93.5	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	-	-	-	
地方消費税交付金	12,856,431	5.2	12,856,431	9.6	法人税割	-	-	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	-	-	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	-	-	-	
自動車取得税交付金	2	0.0	2	0.0	軽自動車税	204,904	0.3	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	2,973,220	4.4	-	
自動車税環境性能割交付金	171,496	0.1	171,496	0.1	雑産税	-	-	-	
法人事業税交付金	-	-	-	-	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	330,483	0.1	330,483	0.2	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	278,672	0.1	278,672	0.2	目的税	17,671	0.0	-	
自動車税減収補填特例交付金	48,411	0.0	48,411	0.0	法定目的税	17,671	0.0	-	
軽自動車税減収補填特例交付金	3,400	0.0	3,400	0.0	入湯税	17,671	0.0	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	-	-	-	-	事業所税	-	-	-	
地方交付税	-	-	-	-	都市計画税	-	-	-	
普通交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-	
特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
(一般財源計)	84,644,261	33.9	84,644,261	63.4	合計	67,412,097	100.0	-	
交通安全対策特別交付金	50,489	0.0	50,489	0.0					
分担金・負担金	1,545,328	0.6	-	-	区分	令和3年度	令和2年度		
使用料	3,381,124	1.4	1,552,238	1.2	徴収率	99.0	97.2	98.8	97.0
手数料	782,746	0.3	-	-	(%)	99.0	97.1	98.8	96.9
国庫支出金	54,443,485	21.8	-	-	現・計	-	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	47,679,358	19.1	45,789,053	34.3	合計	16,829,577	1,200,791	1,200,791	
都道府県支出金	20,236,894	8.1	-	-	上水道	-	再差引収支	1,200,791	
財産収入	1,505,519	0.6	1,244,197	0.9	工業用水道	-	加入世帯数(世帯)	85,881	
寄附金	91,568	0.0	-	-	交通	-	被保険者数(人)	113,141	
繰入金	16,762,577	6.7	-	-	電気	-	国民健康保険	4,229,853	
繰越金	11,862,706	4.8	-	-	その他	12,599,724	1人当り	1,200,791	
諸収入	2,368,889	1.0	181,662	0.1			被保険者	133	
地方債	3,981,700	1.6	-	-			国民健康保険	1	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			その他	278	
うち猶予特例債	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	249,336,644	100.0	133,461,900	100.0					

歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	884,631	0.4	-	884,631	
総務費	46,099,812	19.6	2,292,533	41,896,289	
民生費	118,698,094	50.3	4,568,235	62,799,261	
衛生費	24,650,775	10.5	68,449	13,574,024	
労働費	508,509	0.2	-	481,776	
農林水産業費	132,105	0.1	26,895	125,055	
商工費	1,478,282	0.6	13,083	1,236,976	
土木費	14,441,492	6.1	7,477,494	8,751,613	
消防費	1,212,530	0.5	626,251	873,669	
教育費	24,438,602	10.4	4,705,597	18,930,501	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	3,249,170	1.4	-	3,247,802	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	235,794,002	100.0	19,778,537	152,801,375	
性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	112,349,240	47.6	64,535,397	62,795,948	47.1
人件費	36,987,526	15.7	34,409,054	33,418,335	25.0
うち職員給	21,905,103	9.3	20,673,911	-	-
扶助費	72,117,005	30.6	26,883,002	26,134,272	19.6
公債費	3,244,709	1.4	3,243,341	3,243,341	2.4
元利償還金	3,244,709	1.4	3,243,341	3,243,341	2.4
うち元金	3,052,160	1.3	3,050,792	3,050,792	2.3
うち利子	192,549	0.1	192,549	192,549	0.1
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	103,666,225	44.0	81,101,398	47,743,430	35.8
物件費	46,169,900	19.6	31,406,783	29,535,992	22.1
維持補修費	1,300,529	0.6	794,488	794,092	0.6
補助費等	12,059,958	5.1	7,719,304	4,766,868	3.6
うち一部事務組合負担金	2,182,351	0.9	2,182,351	1,578,252	1.2
繰出金	16,829,577	7.1	13,968,044	12,646,478	9.5
積立金	27,275,007	11.6	27,181,252	-	-
投資・出資金・貸付金	31,254	0.0	31,254	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	19,778,537	8.4	7,164,580	-	-
うち人件費	1,060,907	0.4	1,060,907	-	-
普通建設事業費	19,778,537	8.4	7,164,580	-	-
うち補助	7,372,085	3.1	1,624,155	-	-
うち単独	12,369,807	5.2	5,503,780	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	235,794,002	100.0	152,801,375	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和3年度 東京都杉並区

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	251,831	238,288	13,543	13,196	18,756,977	35,606	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

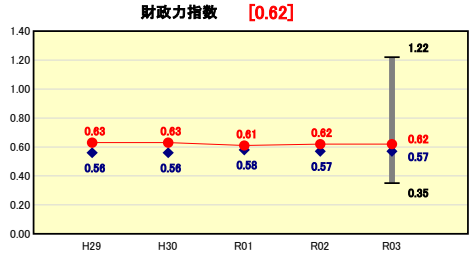
令和3年度 東京都杉並区

人口	569,703人 (R4.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	554,600人 (R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	34.06 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	-5.2 %
歳入総額	249,336,644千円	将来負担比率	- %
歳出総額	235,794,002千円	市町村類型	H29 特別区 H30 特別区 R01 特別区
実質収支	13,196,423千円	(年度毎)	R02 特別区 R03 特別区
標準財政規模	127,632,072千円		
地方債現在高	33,020,187千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
◇ 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。

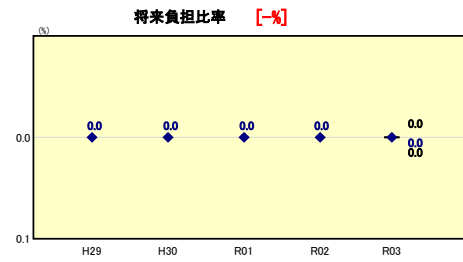
#### 財政力



類似団体内順位 9/23 全国平均 0.50 東京都平均 0.74

**財政力指数の分析欄**  
 前年度同様の0.62となった。  
 区は、平成24年3月に策定した「杉並区総合計画」の中で『行財政改革基本方針』を定め、特別区民税等の収納率の向上など歳入の確保に努めるとともに、職員数の削減や事業の民営化・民間委託、区民との協働の推進などにより歳入の効率化に取り組んできた。  
 また、令和4年2月に新たな「杉並区総合計画」を策定し『区政経営改革推進基本方針』を定めるところだが、今後とも、財源の確保や、事業運営・執行方法の見直しなどに引き続き取り組み、財政の健全化に努めていく。

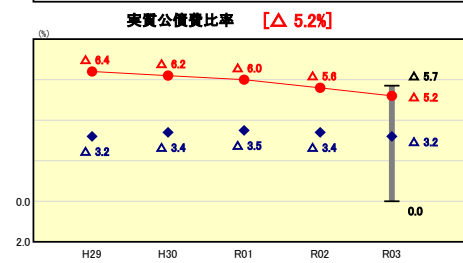
#### 将来負担の状況



類似団体内順位 1/23 全国平均 15.4 東京都平均 0.0

**将来負担比率の分析欄**  
 将来負担比率は、将来負担額よりも充当可能財源等が大きいため、連続して生じていない。

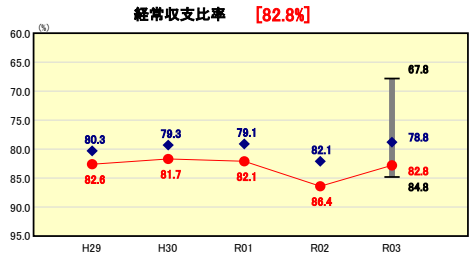
#### 公債費負担の状況



類似団体内順位 2/23 全国平均 5.5 東京都平均 △2.1

**実質公債費比率の分析欄**  
 老朽施設の改築・改修や公園の整備等の経費の増に伴い、区債残高は増加傾向にあるものの、基金と区債をバランスよく活用した財政運営に努めている結果、類似団体内において上位となっている。  
 今後も、区債は、原則として赤字区債は発行せず、建設債についても、財政状況を踏まえつつ、必要性を十分検討して発行する。また、金利動向等を見据え繰上償還を行い、公債費の軽減に努めていく。

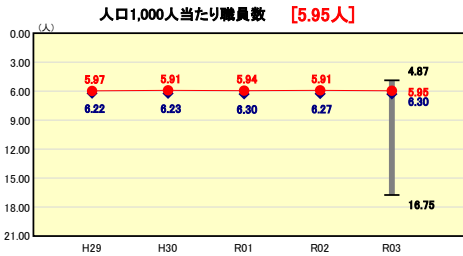
#### 財政構造の弾力性



類似団体内順位 19/23 全国平均 88.9 東京都平均 87.6

**経常収支比率の分析欄**  
 民間委託の進展に伴う物件費や保育関連経費の増に伴う扶助費の増により分子である歳出が増となったものの、特別区財政交付金(普通交付金)や地方消費税交付金の増収により分母である歳入が増となったことから、対前年度比3.6ポイント減の82.8%となった。  
 『区政経営改革推進基本方針』に示した「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための考え方」において『行政コスト対税収等比率が100%を超えないよう努める』としているところであり、今度も財政構造の弾力性について留意する。

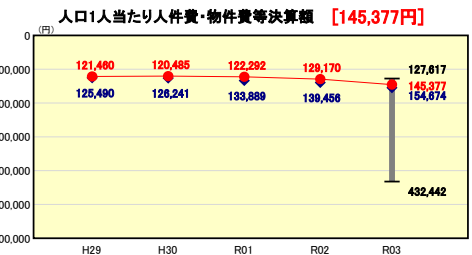
#### 定員管理の状況



類似団体内順位 7/23 全国平均 8.21 東京都平均 6.02

**人口1,000人当たり職員数の分析欄**  
 人口千人当たり職員数は、類似団体平均より0.35人少ない5.95人となっている。これは、事務事業の見直し等により、職員数の適正管理に努めてきた結果である。  
 今後も、令和4年1月に新たに策定した『定数管理方針』に基づき、増大する行政需要への対応と組織の活性化を図りつつ、職員数の適正管理に努めていく。

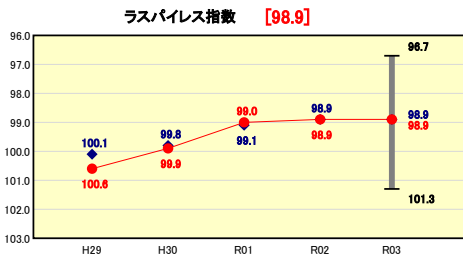
#### 人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 10/23 全国平均 155,088 東京都平均 149,230

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 『行財政改革基本方針』等に基づき、職員数の削減、事務事業の見直しや民営化・民間委託、区民・NPOとの協働の推進等を着実に進めてきた結果、類似団体平均に比べ低くなっている。  
 『区政経営改革推進基本方針』に基づき、引き続き経費の抑制に取り組み、効率的な行政運営に努めていく。

#### 給与水準(国との比較)



類似団体内順位 12/23 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

**ラスパイレス指数の分析欄**  
 令和元年度以降、ラスパイレス指数は99.0前後である。  
 類似団体平均、全国市平均とほぼ同水準にあるが、引き続き職員給与の適正化に努めていく。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

東京都杉並区

## 経常収支比率の分析

人口	569,703	人(R4.1.1現在)	-	%
うち日本人	554,500	人(R4.1.1現在)	-	%
面積	34.06	km <sup>2</sup>	-	%
歳入総額	249,336,644	千円	-	%
歳出総額	235,794,002	千円	-	%
実質収支	13,196,423	千円	-	%
標準財政規模	127,632,072	千円	-	%
地方債現在高	33,020,187	千円	-	%

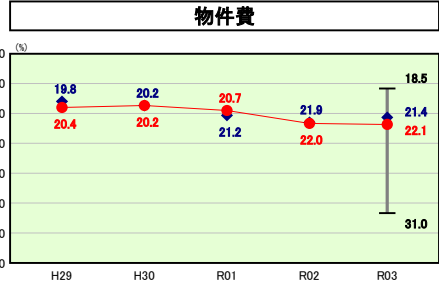
実質赤字比率	-	%
連結実質赤字比率	-	%
実質公債費比率	-5.2	%
将来負担比率	-	%

市町村類型	H29 特別区	H30 特別区	R01 特別区	R02 特別区	R03 特別区
(年度毎)	R02 特別区	R03 特別区			

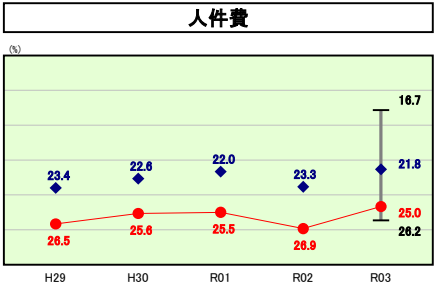
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

● 当該団体値  
 ◆ 類似団体内平均値  
 T 類似団体内の最大値及び最小値



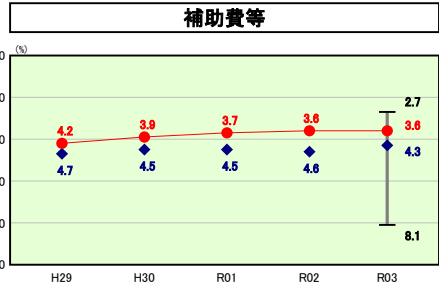
類似団体内順位 16/23 全国平均 13.8 東京都平均 18.7

**物件費の分析欄**  
 これまでの民営化・民間委託の推進等により、増加傾向にあるが、今後の民営化・民間委託の活用については、これまでの取組等の検証を踏まえ、方針を決定する。



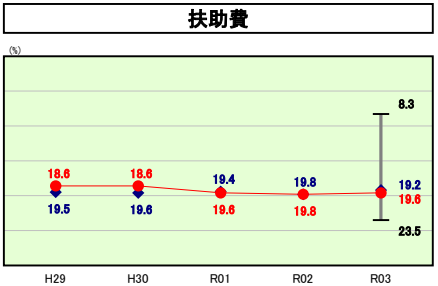
類似団体内順位 18/23 全国平均 25.2 東京都平均 22.2

**人件費の分析欄**  
 今後も、事業運営の改善や執行方法の見直し、AI（人口知能）など新たな技術の活用の検討、民間事業者等の多様な主体を活用したサービス提供を進めるなど、効率的な行政運営に努めていく。



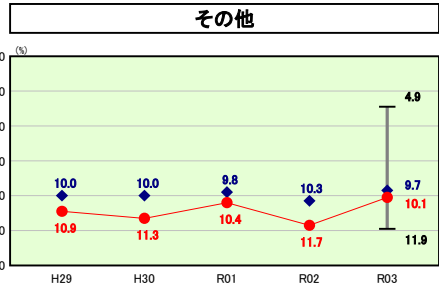
類似団体内順位 3/23 全国平均 10.2 東京都平均 11.2

**補助費等の分析欄**  
 補助費等はこの間減少傾向にあるが、補助金については、補助金検証・評価シートや事務事業評価による効果検証を徹底し、絶えず見直しに取り組むとともに、事務の適正執行に努めていく。



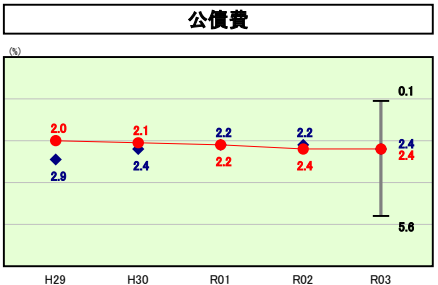
類似団体内順位 15/23 全国平均 12.0 東京都平均 15.3

**扶助費の分析欄**  
 「待機児童ゼロ」の継続・「希望する全ての子どもが認可保育所に入所できる環境」を実現するための認可保育所の運営に伴う保育関連経費や、障害者の社会参加をさらに促進するための移動支援事業等の見直しに伴う障害者福祉費の増などにより、扶助費は今後も増加することが見込まれる。



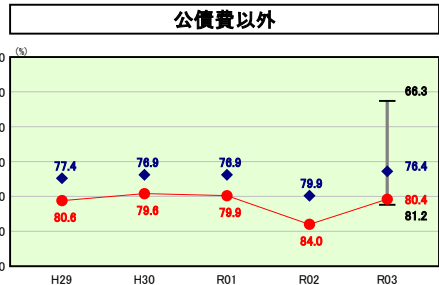
類似団体内順位 14/23 全国平均 12.0 東京都平均 11.6

**その他の分析欄**  
 維持補修費や特別会計への繰出金の減などにより、対前年度比1.6ポイント減の10.1%となった。



類似団体内順位 14/23 全国平均 15.7 東京都平均 8.6

**公債費の分析欄**  
 「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための考え方」に基づき、区債の発行にあたっては財政状況を踏まえつつ、必要性を十分検討して行うこととしており、今後とも基金と区債のバランスの取れた活用により、増加する施設の更新需要に対応する。



類似団体内順位 19/23 全国平均 73.2 東京都平均 79.0

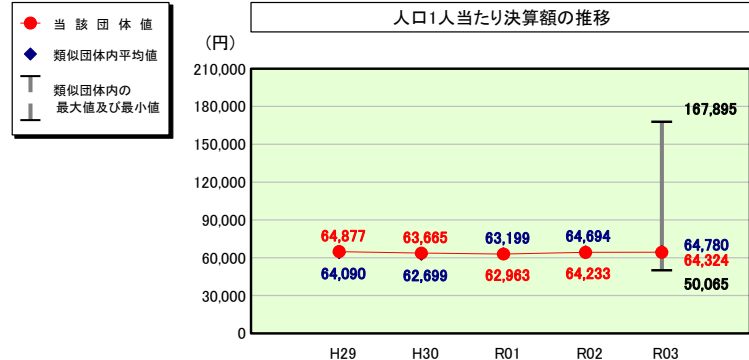
**公債費以外の分析欄**  
 人件費・物件費等の増などにより、類似団体の平均を4.0ポイント上回っている。今後も防災・減災対策や保育待機児童ゼロの継続など足元の行政需要に着実に応えつつ、事業の効率的な執行により経費の縮減に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

東京都杉並区

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

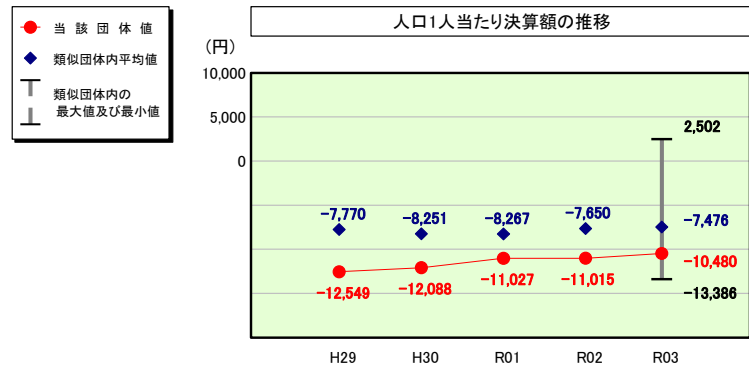
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	36,987,526	64,924	64,680	0.4
一部事務組合負担金(補助費等)	396,231	696	847	▲ 17.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	-	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	898,031	1,576	2,336	▲ 32.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,060,907	1,862	1,534	21.4
▲退職金	▲ 2,697,178	▲ 4,734	▲ 4,617	2.5
合計	36,645,517	64,324	64,780	▲ 0.7

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.95	6.30	▲ 0.35
ラスバイレス指数	98.9	98.9	0.0

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

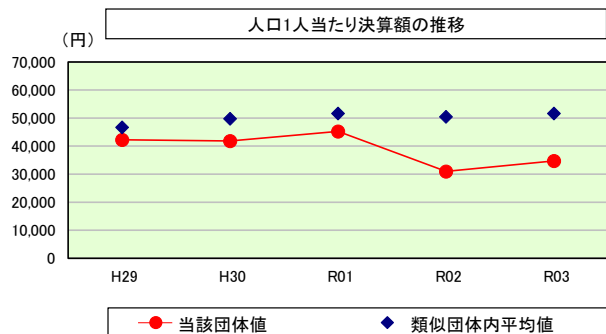


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,827,517	3,208	4,307	▲ 25.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	348,590	612	453	35.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	23	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	148,516	261	309	▲ 15.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	657,832	1,155	2,268	▲ 49.1
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	-	-
▲特定財源の額	▲ 1,368	▲ 2	▲ 17	▲ 88.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 8,951,545	▲ 15,713	▲ 14,818	6.0
合計	▲ 5,970,458	▲ 10,480	▲ 7,476	40.2

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	
H29	23,866,588	42,280	▲ 12.3	46,686	▲ 9.5	▲ 2.8
うち単独分	17,380,011	30,789	▲ 18.0	32,595	▲ 7.8	▲ 10.2
H30	23,803,386	41,824	▲ 1.1	49,796	6.7	▲ 7.8
うち単独分	18,600,025	32,681	6.1	37,281	14.4	▲ 8.3
R01	25,981,525	45,255	8.2	51,681	3.8	4.4
うち単独分	19,675,187	34,270	4.9	37,226	▲ 0.1	5.0
R02	17,776,031	30,995	▲ 31.5	50,465	▲ 2.4	▲ 29.1
うち単独分	13,234,067	23,076	▲ 32.7	34,193	▲ 8.1	▲ 24.6
R03	19,778,537	34,717	12.0	51,679	2.4	9.6
うち単独分	12,369,807	21,713	▲ 5.9	35,132	2.7	▲ 8.6
過去5年間平均	22,241,213	39,014	▲ 4.9	50,061	0.2	▲ 5.1
うち単独分	16,251,819	28,506	▲ 9.1	35,285	0.2	▲ 9.3

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

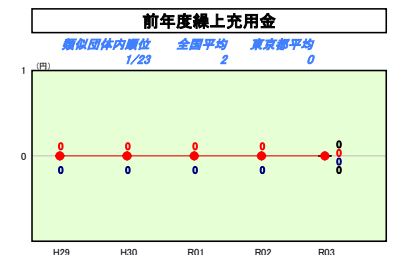
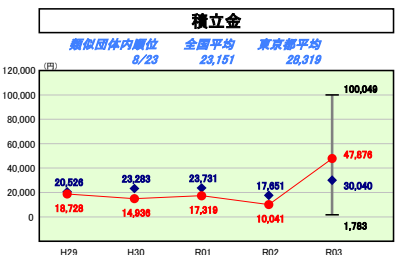
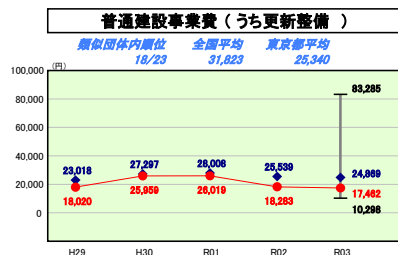
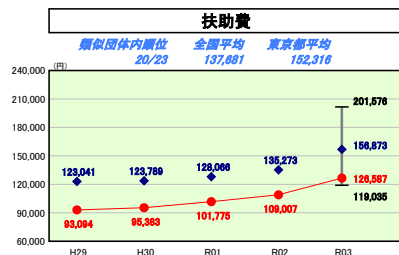
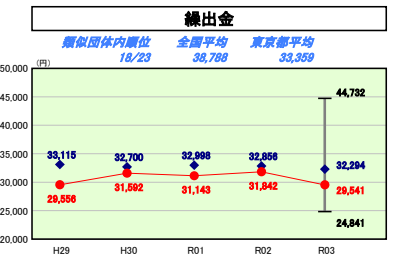
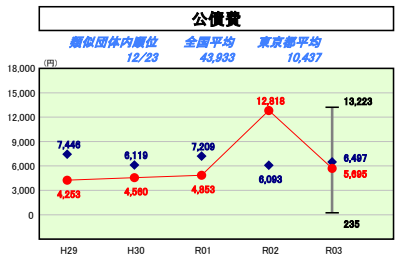
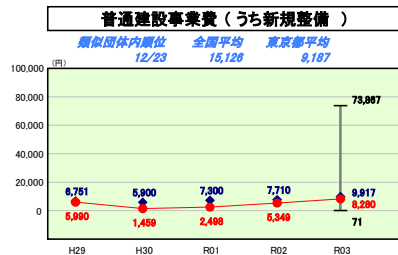
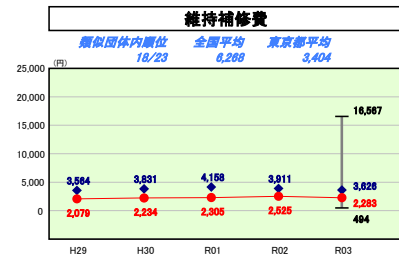
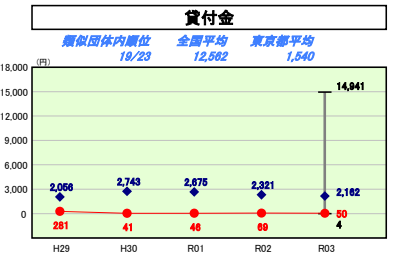
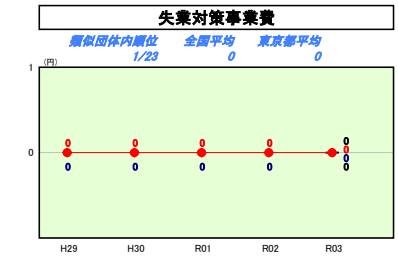
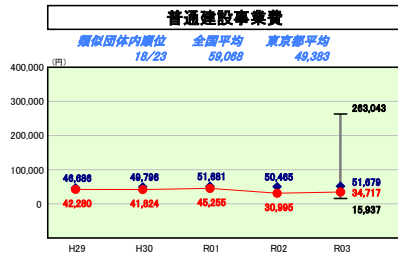
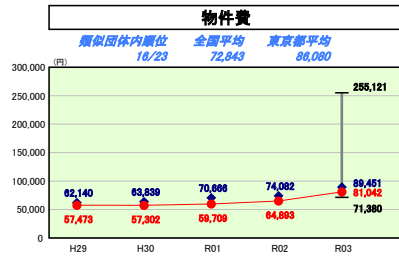
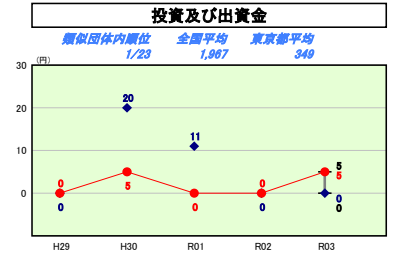
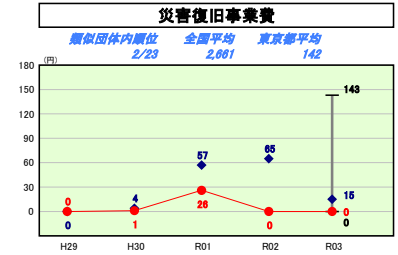
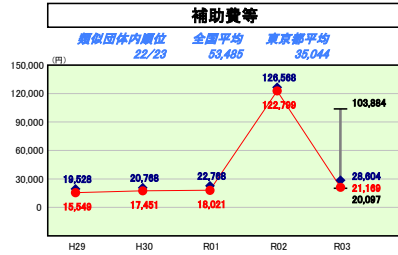
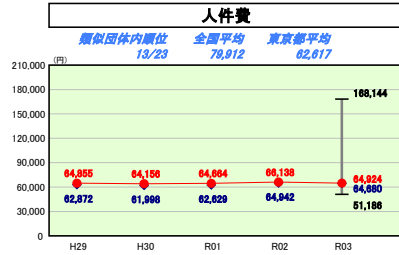
令和3年度

東京都杉並区

人口	569,703人(※4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	554,500人(※4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	34.06千㎡	実質公債費比率	-5.2	%
歳入総額	240,336,644千円	特長負担比率	-	%
歳出総額	235,794,002千円	市町村類型	H29 特別区 H30 特別区 R01 特別区	
実質収支	13,196,423千円	(年度毎)	R02 特別区 R03 特別区	
標準財政規模	127,632,072千円			
地方債現在高	33,020,187千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析値

歳出決算総額は、住民一人当たり 413,889円となり、前年度より37,240円の減となっている。  
 これは、国事業の定額給付金給付事業の増減等により歳出総額が大幅減になったことによるものであり、同じ理由により補助費等も大幅減となっている。  
 一方で、同じく国事業のコロナワクチン接種や子育て世帯への臨時給付等により、物件費や扶助費は増となっている。  
 また、ワクチン接種をはじめとしたコロナ対策経費に係る国庫支出金の歳入により生じた一般財源の残、特別区税や特別区財政交付金(普通交付金)など歳入が当初想定を上回った財源を基金に積み立てたため、積立金も増加した。  
 なお、公債費は、令和2年度の用地会計における満期一括償還が削減となったことにより大幅減となっている。  
 今後も、保育関連経費や障害者施策など扶助費の増や老朽施設の改築・改修経費など歳出増が見込まれるが、区民サービスの向上を図りつつ、より効率的な行政運営に努めていく。



# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

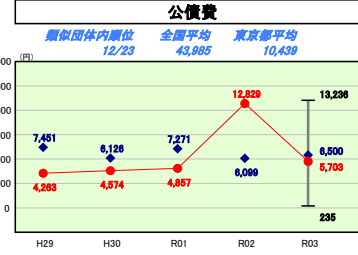
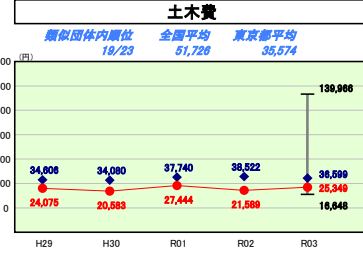
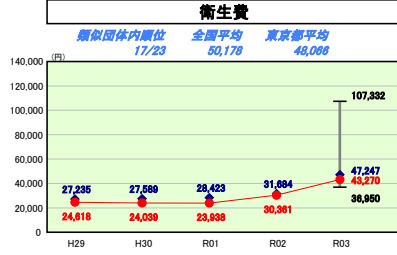
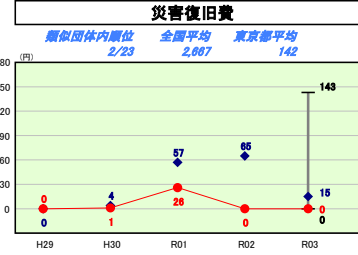
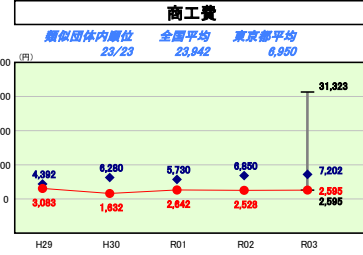
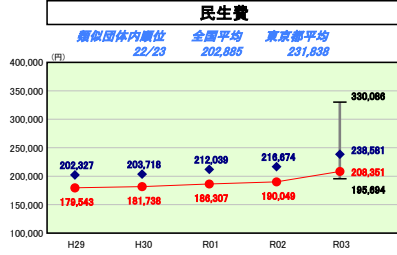
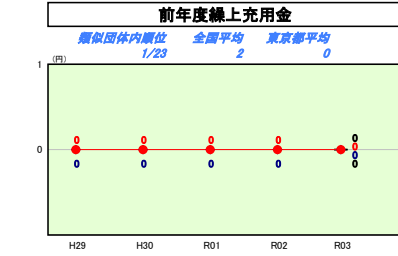
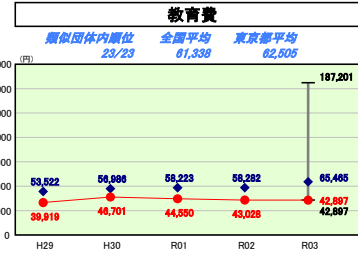
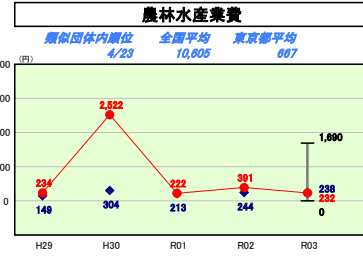
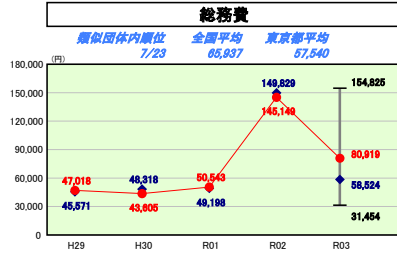
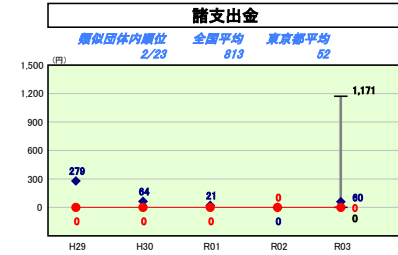
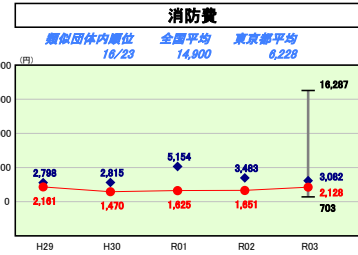
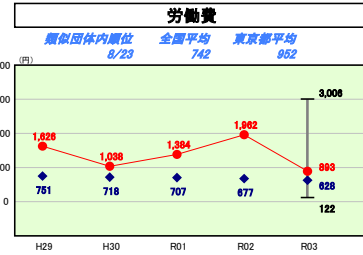
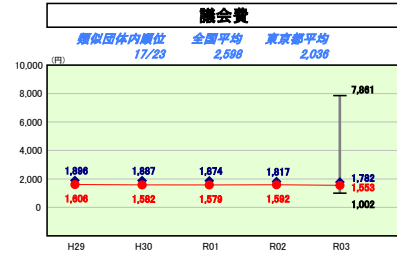
令和3年度

東京都杉並区

人口	569,703人(※4.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	564,500人(※4.1.1現在)	運給実収赤字比率	-	%
面積	34.06km <sup>2</sup>	実収公債費比率	-5.2	%
歳入総額	240,336,644千円	特采負担比率	-	%
歳出総額	235,794,002千円	市町村類型	H29 特別区 H30 特別区 R01 特別区	
実収収支	13,196,423千円	(年度毎)	R02 特別区 R03 特別区	
標準財政規模	127,632,072千円			
地方債現在高	33,020,187千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析値**  
 住民一人当たりコスト413,889円のうち、最も大きい民生費は、保育関連経費などの増により右肩上がりの傾向となっている。  
 2番目に大きい総務費は、国事業の定額給付金給付事業等の増により、対前年度比64.230%の大幅増となっている。  
 また、衛生費は、コロナワクチン接種経費等により、対前年度比12,909%の増となっている。  
 なお、公債費は、令和2年度の用地会計における満期一括償還が皆減となったことにより大幅減となっている。

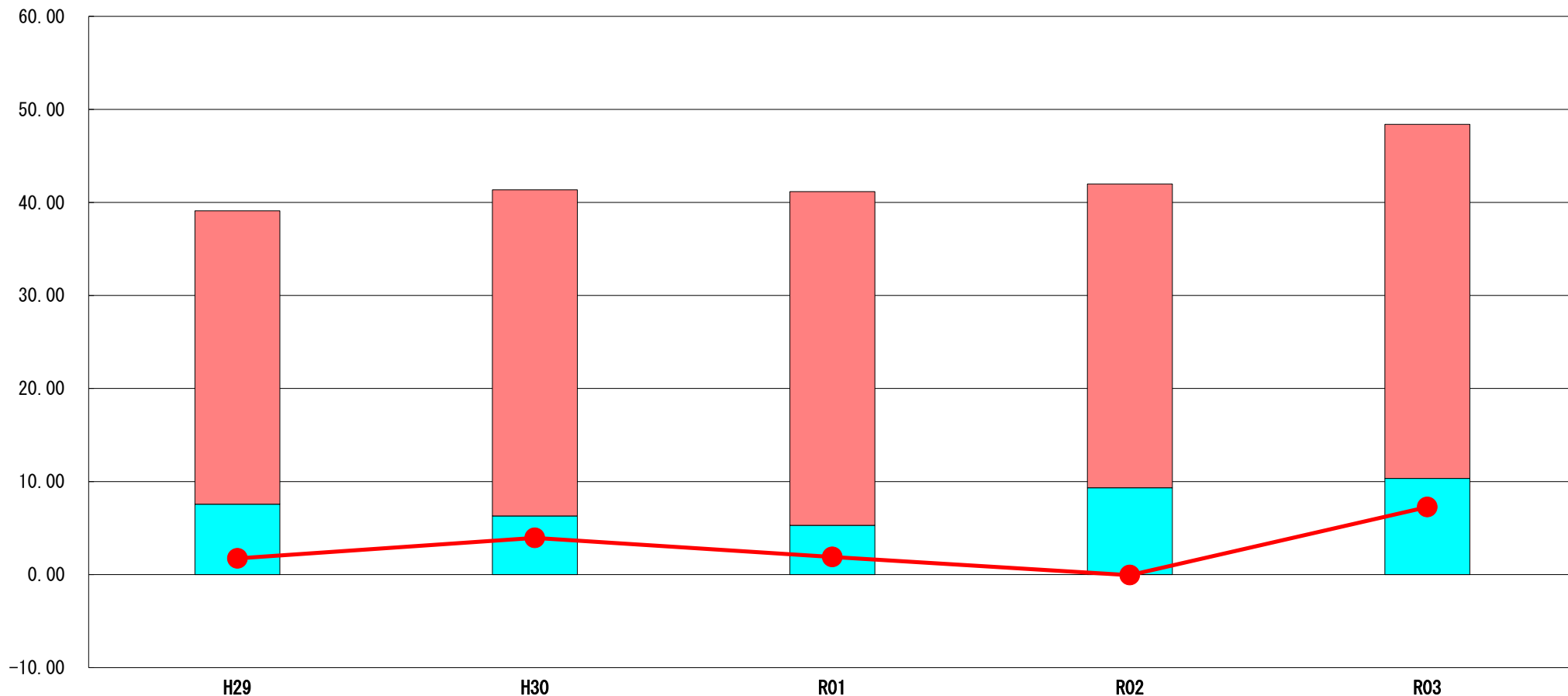


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和3年度

東京都杉並区

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
 財政調整基金残高		31.52	35.06	35.88	32.67	38.05
 実質収支額		7.57	6.30	5.29	9.32	10.34
 実質単年度収支		1.74	3.94	1.90	▲ 0.06	7.26

### 分析欄

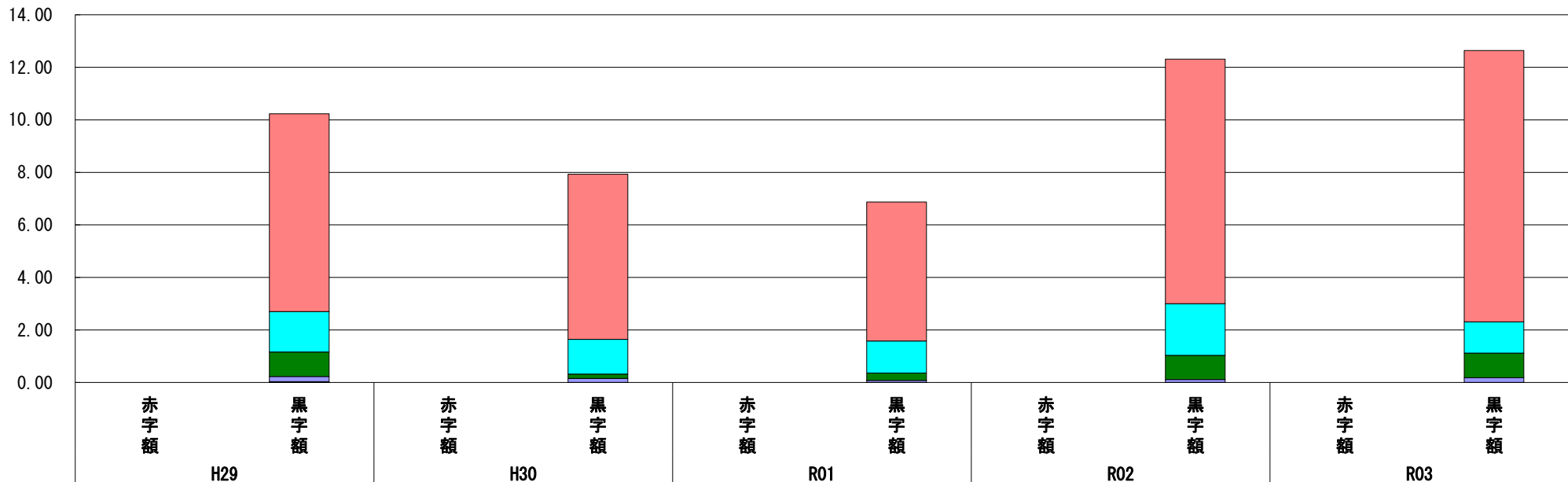
実質収支比率は、分子の実質収支額が増となり、対前年度比1.0ポイント増の10.3%となった。  
 また、財政調整基金残高について、令和2年度はコロナ対策の財源として活用し前年度比減となったものの、令和3年度は、コロナ対策経費に係る国庫支出金の歳入や、一般財源が当初想定を上回った財源を財政調整基金に積み立てた結果、標準財政規模に占める割合は上昇した。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

東京都杉並区

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H29	H30	R01	R02	R03
一般会計		7.53	6.29	5.29	9.31	10.33
介護保険事業会計		1.54	1.32	1.22	1.97	1.19
国民健康保険事業会計		0.93	0.17	0.28	0.92	0.94
後期高齢者医療事業会計		0.20	0.15	0.08	0.11	0.18
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.00	0.00	0.00	-

## 分析欄

連結実質収支が黒字であるため、連結実質赤字比率は連続して生じていない。

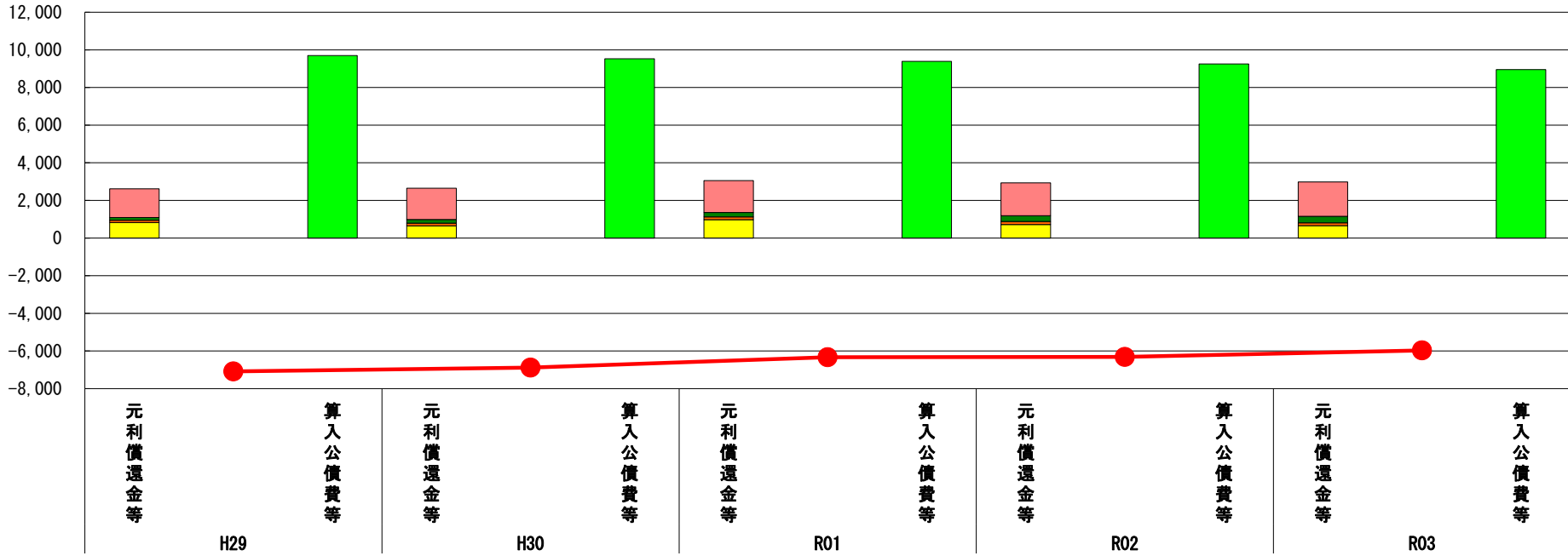
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

東京都杉並区

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,523	1,658	1,700	1,741	1,828
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		146	194	233	314	349
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		125	138	141	158	149
	債務負担行為に基づく支出額		823	656	981	720	658
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		9,701	9,525	9,386	9,250	8,953
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		▲ 7,084	▲ 6,879	▲ 6,331	▲ 6,317	▲ 5,969

## 分析欄

元利償還金等から算入公債費等を差し引いた実質公債費比率の分子は、元利償還金の増などにより、前年度と比べて348百万円増となっている。  
 区債発行額は、施設の更新需要に対応するため、今後も増加していくことが見込まれるが、基金の活用とのバランスに留意し、引き続き持続可能な財政運営に努めていく。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

		年度	H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		1,318	678	1,631	2,649	3,690
	減債基金積立相当額		217	110	304	537	838

## 分析欄

満期一括償還に充てるための積み立てを着実に進めており、積立不足は生じていない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

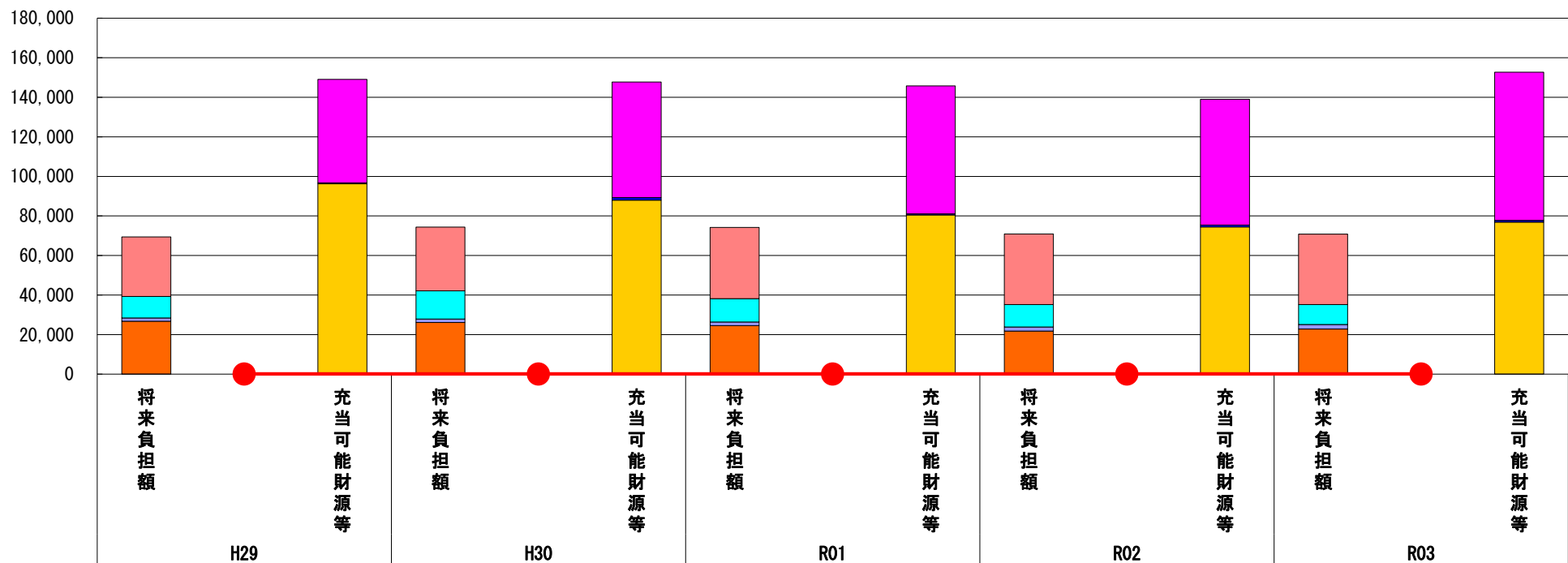
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

東京都杉並区

(百万円)



(百万円)

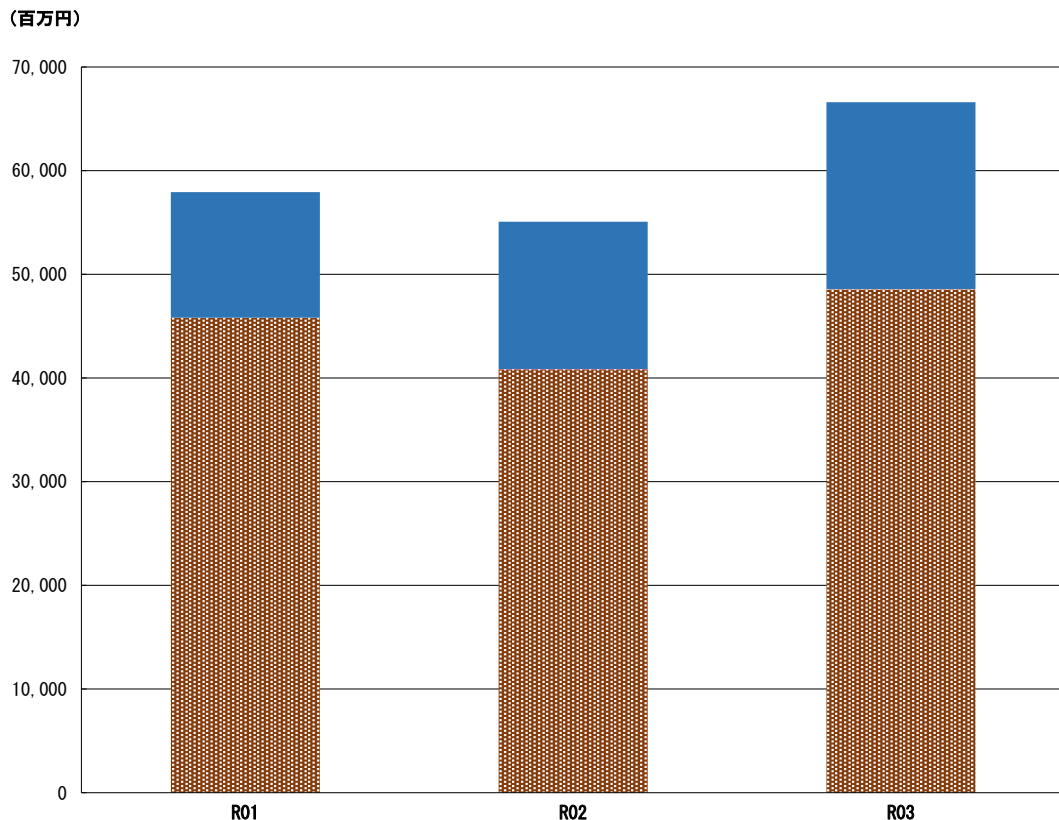
分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		30,088	32,239	35,998	35,762	35,606
	債務負担行為に基づく支出予定額		10,877	14,299	11,886	11,297	10,102
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		1,728	1,716	1,755	2,069	2,337
	退職手当負担見込額		26,713	26,124	24,575	21,787	22,775
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		52,306	58,457	64,732	63,559	74,908
	充当可能特定歳入		486	1,213	566	926	879
	基準財政需要額算入見込額		96,235	88,014	80,469	74,461	76,868
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 79,622	▲ 73,307	▲ 71,554	▲ 68,031	▲ 81,836

## 分析欄

将来負担額から充当可能財源等を差し引いた財将来負担比率の分子は、将来負担額よりも充当可能財源等が大きいため、連続してマイナスを示し、将来負担比率は生じていない。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		45,806	40,842	48,559
減債基金		17	19	21
その他特定目的基金		12,111	14,216	18,025
施設整備基金		8,971	10,874	14,565
区営住宅整備基金		2,368	2,397	2,464
社会福祉基金		632	787	803
次世代育成基金		100	104	115
みどりの基金		32	37	55
基金残高合計		57,935	55,076	66,605

## 令和3年度 東京都杉並区

### 基金全体

(増減理由)

基金残高は、平成23年度まで減少傾向にあったが、行財政改革の推進等による財政調整基金への着実な積み立てにより、平成24年度以降は増加に転じている。令和2年度はコロナ対策の財源として財政調整基金を活用したため基金全体でも前年度比減となったものの、令和3年度は、コロナ対策経費に係る国庫支出金の歳入や、一般財源が当初想定を上回った財源を財政調整基金に積み立てた結果、基金全体でも前年度比増となっている。

(今後の方針)

足元の行政需要に着実に対応するとともに、『区政経営改革推進基本方針』において示した「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための考え方」に基づき、財政調整基金の年度末残高の維持及び、施設整備基金への計画的な積み立てを行っていく。

### 財政調整基金

(増減理由)

平成30年度に見直しを行った「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」に基づき、着実な積み立てに努めている。令和2年度は、コロナ対策として時機を逸することなく必要な対応を行うために躊躇なく活用し、結果として残高は減少したものの、令和3年度は、ワクチン接種をはじめとしたコロナ対策経費に係る国庫支出金の歳入により生じた一般財源の残や、特別区税や特別区財政交付金（普通交付金）など歳入が当初想定を上回った財源を積み立て、前年度比増となっている。

(今後の方針)

「ルール」から改めた「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための考え方」に基づき、過去の大規模災害で被災した自治体の事例を参考に大規模災害への備えとして150億円、また、平成20年9月のリーマンショック時の実績を基に経済事情の著しい変動等による備えとして200億円の、合計350億円の年度末残高の維持に努めていく。なお、令和5年度に実施する各種計画の改定に合わせ、『考え方』に示す必要額350億円の妥当性についても、検討し見直す予定である。

### 減債基金

(増減理由)

満期一括償還に充てるための積み立てを着実に進めており、それに伴う利子再積み立てにより微増傾向にある。

(今後の方針)

銀行等引受債が増加傾向にある中、今後も満期一括償還に備えた積み立てを着実に進めていくとともに、金利動向等を見据え繰上償還についても検討し、公債費の軽減に努めていく。

### その他特定目的基金

(基金の用途)

- 施設整備基金：施設の改築・改修などのための基金
- 区営住宅整備基金：区営住宅の大規模修繕その他の整備のための基金
- 社会福祉基金：社会福祉を増進するための基金
- 次世代育成基金：子ども・青少年の国内外交流事業等への参加を支援するための基金
- みどりの基金：みどりの保全及び緑化の推進のための基金

(増減理由)

施設整備基金の残高は、『ルール』に基づき6,000百万円余の積み立てを行ったことにより、前年度比3,691百万円増の14,565百万円となっている。また、区営住宅整備基金については、使用料収入を基に事業費への充当と積み立てにより微増となっている。その他の基金については、区民等からの寄附を中心に運営しており、寄附及び充当事業の実績により微増している。

(今後の方針)

その他特定目的基金のうち、施設整備基金は、『考え方』に基づき、将来の区立施設の改築・改修需要に備え、毎年度、4,000百万円以上を目途とした計画的な積み立てを行っていくとしているが、前述の各種計画の改定に合わせ、『考え方』に示す4,000百万円以上の妥当性についても、検討し見直す予定である。なお、寄附金を中心に運用している基金については、健全な寄附文化の醸成に取組み、寄附金収入の確保に努めるなど、適切に運用していく。